



大地

(じねんじょ通信)

発行者：社会福祉法人じねんじょ
発行日：平成18年3月17日
TEL : 0832-52-2227
FAX : 0832-52-2259



**小さきは小さきまきに
折れたるは折れたるままに
コスモスの花咲く**

社会福祉法人じねんじょ
理事長 金原 洋治

これはしいのみ学園をつくり、100歳になった現在もなお「しいのみ学園」（福岡県）の理事長、園長をつとめておられる昇地三郎先生の歌です。映画にもなりましたので、熟年世代以上の方々の多くはご存知だと思いますが。おふたりの脳性麻痺のこどもさんを授かり、教員、福岡教育大学教授の激務を続けながら、当時行き場のなかった子ども達のための学園をつくられた方です。先生ご自身の本籍は山口県、奥様のご実家は岩国の大名家だそうです。

小さいは小さいままでもいいんだよ。道端の折れたコスモスも折れたままでもいいんだよ。障害があってもいいんだよ。障害がある親にとって子どもの今の状態を受け入れる事はとても困難な骨の折れる作業です。障害がある子どもをもつ親は、心の中で暖めてきた子どもとの人生のプログラムの築き直しが要求されます。障害がわかったときには、これはなにかの間違いだと思います。障害にまともに向き合う事ができず、だれかのせいや自分自信のせいにしたくなる時もあります。そうしているうちに、どこかの時点で「しかたがないなー。よしやろう」と思い直し前を向いて歩き始めます。子どもの成長を信じながらも、子どもの成長のそれぞれの時点で、

ある時はそのままでいいと思うたり、もう少し〇〇できるようにさせたいな。と思うたり親の気持ちは揺れ動きます。また、同時に両方の思いを持っているのも当然だと思います。障害がある人自身にとっても、自分の障害についてこのように思えるには多くの年月が必要です。極めて軽い障害がある私自身も、少し自分の個性に自信が持てる30歳を過ぎてからのような気がします。

私たちサポーターは、このような当事者や親の思いを汲み取り、障害の受容を迫らず、人生の伴走者の一人として障害がある人たちの生活支える知識や技術の向上に努めましょう。

4月から障害者自立支援法がスタートしました。利用者にとっても、ご家族にとっても利用料の負担が多くなり大変だと思います。施設の運営側にとっても利用したサービスの分だけしか収入がなくなりますので、障害が重い方の利用が多く欠席が多い施設は収入が減少します。まだ4月だけしか、収支の状況がわかりませんが、大変だなーという印象です。

10月1日からの本格的なスタートも、半年後に迫りました。ご家族、職員、理事、評議員の皆様、それから「じねんじょを育む会」の皆様にもご協力いただき、知恵を絞り、様々な立場から意見を交換し合いながらじねんじょの将来構想づくりの作業を進めていきたいと思っています。ご協力ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

「ただいま100歳今からでも遅くないー」（昇地三郎 致知出版社）から引用させていただきました。

平成18年度 重症心身障害者地域生活支援センター行事予定

- 5月 野外活動
- 6月 春の運動会
- 7月 花火大会
- 8月 馬鹿まつり（19・20日）
- 9月 遊花フォーラム

- 10月 じねんじょフェスティバル
- 12月 クリスマス会
- 1月 成人を祝う会
- 2月 もちつき大会

今年も色々な行事
を企画！遊びに来てくださいね





「3年目を迎えて、原点に立ち戻る！」

センター長 石塚 忠志

平成16年4月に重症心身障害者地域生活支援センターが開設し早いもので3年目を迎えることができました。これも多くの方々に支えられ、また、利用者（メンバー）の方から教えられ、保護者の皆様からは、施設の運営や活動に対してご理解とご協力をいただいたお陰と思います。改めて心よりお礼申し上げます。

じねんじょの法人理念を掲げて「一人ひとりの人権を尊重し、その人らしさを大切にした支援を行うこと」「安全で安心できる場であること」「地域の人達と積極的に交流し、地域に根ざした日々の活動を行うこと」2年前に帆を上げて船出をしました。節目の年、この理念にどれほど近づけたかは分かりませんが、原点に立ち戻り見つめ直さなければならないと思います。

そして、支援費制度施行からわずか3年で障害者自立支援法に大きく転換し、福祉を取り巻く環境は、障害福祉サービス事業者だけでなく、福祉サービスの定率負担や食費・ホテルコストの自己負担等、障害を持つ方々の環境も大きく変わってきています。その改革の趣旨に添って制度化されているのか、大いに疑問であるところだと思いますが、福祉の基盤は、人です、人権です。私たちは「一人のメンバーを主体者としてどのように関わるか」というとき、「自己選択」「自己決定」ができるような環境を整備し、その人らしさの生活を共に考えていくべきだと思います。そこには、障害があるなしに関わらず人権を保障するという視点を常に持つていなければなりません。

ともあれ、「不易流行」の言葉通り、「不易」と「流行」を意識して、その人らしい地域での生活を支援したいと思っていますので、これからも皆様のご支援ご鞭撻をよろしくお願いします。

じねんじょ・むく・むかご 職員紹介

重症心身障害者地域生活支援センター センター長 石塚 忠志

じねんじょ

施設長	石塚 忠志
サービス管理者	杉村 粉津枝
栄養士	出口 千晴
支援員	柴田 美枝
支援員	村中 大樹
支援員	中村 桃子
支援員	松本 真紀
支援員	八嶋 順子
支援員	越智 裕子
支援員	大濱 貴江
支援員	酒井 理恵
支援員	平川 みき
運転手	小川 康宏
看護師	宮川 奈美
看護師	金田 治美
調理員	鶯尾 愛子
作業療法士	藤本 幹

むく

施設長	小寺 美帆
事務員	松越 美智子
看護師	金崎 恵美子
支援員(むく主任)	鈴木 育実
保育士	浦野 美美子
支援員	西林 美和
保育士	増本 法徳
支援員(むかご施設長補佐)	森山 正啓
支援員(じねんじょ主任)	野村 真弓
運転手	米村 弘志
運転手	本木 誠
調理員	上園 智子
作業療法士	日野 富美
作業療法士	森川 かおり

むかご

施設長(業務)	石塚 忠志
支援員(むかご主任)	松越 智絵
支援員	岩本 由紀恵

平成18年度 新体制で地域
に根ざしたじねんじょにし
ていきたいと思います。
多方面でのご指導、ご協力
よろしくお願いします。



春はお出かけの季節♪

ぽかぽか陽気に誘われて
考古学博物館・お花見・園芸センター…
色々お出かけをしました



公園で
ぽかぽか春を 満喫中♪

鼎だってやるときゃやります！



瀬口さん
お世話になりました

いつも
メンバーに声をかけてた
瀬口さん
また僕達に
会いにきてね！

むく・むかごの春休み

元気いっぱいの むく・むかごのメンバーは
毎日じねんじょを 笑いの渦に巻き込んでいました
そんな一コマをお伝えします(*^_^*)



給食も自分で取
ります！
お兄ちゃん遊び
ました！
お買い物もいくよ

お出かけ・制作・むかし遊び♪
自分の顔にも描いてみよっ！



むくっこ

むくっこも 負けてはいられません！！
みんな集まつたら にぎやかで楽しいよ♪



こいのぼり
屋根より高く
あがるかな？



D-51って
昔の機関車だって
おっしゃって
かっこいいよね～



「じねんじょを育む会」の紹介

「じねんじょを育む会」とは…

センターの開設を機に、じねんじょが行う各種の事業が円滑に運営され、一人でも多くの障害を持つ皆さんのが安心して利用でき、一層発展していくよう支援する為に結成されました。

皆様のご理解、ご支援のほど宜しくお願ひします。

お問い合わせ先

社会福祉法人じねんじょ内

下関市生野町2丁目28-20

Tel 0832-52-2227・FAX 0832-52-2259

ホームページに紹介されています！

「障害のある子どもの放課後保障全国連絡会」の会員の方のホームページ「障害児を対象にした放課後休日活動全国訪問記」に紹介されています。

URLは…

<http://www.wakuwaku.ne.jp/hope/hokago/>
全国訪問記(訪問順)→2006年

人事異動のお知らせ

じねんじょを退職しました。

みなさんお世話になりました。

センター長
むく支援員

瀬口 孝幸
山崎 良子

寄付者氏名(敬称略、順不動)5月15日現在

- ・やまぐち小児科
- ・有限会社仲山薬局 もみの木薬局
- ・重症心身障害者地域生活支援センター保護者会
- ・理事・評議員一同
- ・陶芸サロン・じねんじょ窯
- ・大平物産SHU-CUPゴルフコンペ
- ・友田 美架
- ・羽藤 和子
- ・岡本 篤樹



たくさんのご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

編集後記

梅雨入りを思わせるような天気が続いています
が、みなさんお変わりありませんか？

じねんじょ通信も第5号になりました。すこしでも、じねんじょの日常がお伝えできればいいな
と思っています。また、今年も、色々な行事を考え
ています。行事のたびに増えていく写真の山。メン
バーをはじめ、みんなの笑顔一枚でも多く残したい
のですが。どうやって整理しようかと悩んでおり
ます。是非、遊びに来て、一緒に写真に写ってく
ださい。お待ちしています。

毎号、通信の発行に際しまして、多くの方のご協
力を頂き、この場をお借りしてお礼申し上げます。
また、ご覧頂く皆様のご感想等お待ちしております
ので、どうぞ遠慮なくお申し出下さい。

次回第6号は秋に発刊予定です。第6号でお会いで
きることを楽しみにしています。

地域交流部会(増本・八嶋・岩本・大濱・船越)